

啓発資料の作成について

1 目的

本県のジェネリック医薬品（以下「GE」という。）の数量シェアは平成27年度に58.2%となっているが、平成27年6月に政府より「GE数量シェアの目標値について、平成29年央に70%以上とするとともに、平成30年度から32年度末までの間のなるべく早い時期に80%以上とする」との新たな目標が示されるなど、さらなるGEの使用促進が求められている。

GEの使用促進に係る県民への啓発は、県や各保険者等の様々な関係機関において取り組まれているが、これまでは、GEへの切替による自己負担軽減可能額を個々の患者に通知するなど、自己負担額の軽減が一定程度見込まれる患者を対象としたものが多かった。しかし、上記の新たな目標を達成するには、自己負担の軽減がないもしくはわずかな場合でも、切替の促進が図られるような啓発を併せて行う必要がある。

そこで、GEへの切替による自己負担の軽減がないもしくはわずかなであっても、保険医療財政の節約や優れた保険医療制度の次世代への継承に貢献できることを訴える啓発効果の高いポスター及びリーフレットを制作する。

2 啓発資料のデザイン

(1) ポスター

保険医療財政の節約や優れた保険医療制度の次世代への継承に貢献できることを訴えるデザインとする。

(2) リーフレット

(1) ポスターのデザインに加えて、GEに関する説明及びGE希望カードを付けたデザインとする。なお、GEに関する説明は、昨年度本協議会で作成した「ジェネリック医薬品Q&A（別添）」の文言の一部を採用する。

3 配布先等（予定）

(1) ポスター

- ・福岡県内の医療機関及び薬局へ配布

(2) リーフレット

- ・後期高齢者医療広域連合の実施する差額通知への同封
- ・福岡県内の薬局へ配布
- ・市町村国民健康保険担当課への配布
- ・福祉事務所等への配布（生活保護受給世帯への配布）等

4 作成方法、実施スケジュール等

(1) 作成方法

公募型プロポーザル方式（※）で実施

（※）デザイン等の企画・提案を競争させ、審査の上で目的に最も適した案を提示した業者と契約する方法。

(2) スケジュール（予定）

7月下旬	公募開始
9月中旬	提案の審査
9月下旬	委託業者の決定
10～11月	ポスター・リーフレットの配布

(3) 審査（案）

応募された企画・提案の選定における審査員は、福岡県ジェネリック医薬品使用促進協議会委員の一部及び福岡県保健医療介護部薬務課職員とする。

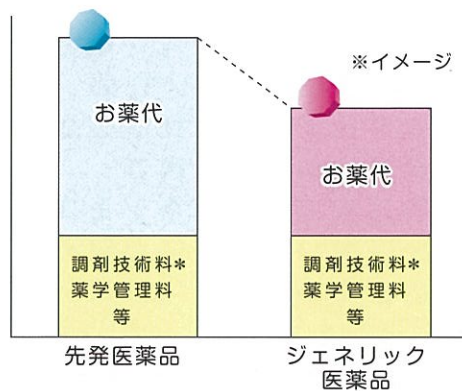
ジェネリック医薬品を使うと、どのくらい安くなるの？

ジェネリック医薬品の薬価は先発医薬品と比較して約2～7割と安くなっています。患者さんが保険薬局で実際に支払うお薬代は、保険によりその金額の1～3割ですが、残りの7～9割は保険財政からの負担となります。

先発医薬品からジェネリック医薬品に変更することにより、自己負担の軽減だけでなく、保険財政の節約にも大いに貢献できます。

高血圧や糖尿病などの生活習慣病のお薬のように、長く飲み続ける必要がある場合は、1回に負担する金額があまり減らなくても、長い期間を通してみると、ある程度の金額を節約できます。

薬局の窓口で支払う金額＝
(お薬代＋調剤技術料・薬学管理料等)
× (1割、2割又は3割)
※負担割合によって異なります。



*調剤技術料は、後発医薬品調剤体制加算の届出状況等により薬局ごとに異なる場合があります。

ジェネリック医薬品の注意点

- ! 先発医薬品によっては、ジェネリック医薬品が発売されていないものがあります。
- ! 病気や体質によっては、医師の判断により、先発医薬品からジェネリック医薬品に変更できないことがあります。
- ! 医療機関や薬局により、取り扱っているジェネリック医薬品が異なります。
- ! 薬局に在庫がないとき、お薬を用意するのに時間がかかることがあります。

まずは、
医師・薬剤師にご相談ください。



お問い合わせ

福岡県保健医療介護部
薬務課（監視係）

電話：092-651-1111（代）
092-643-3285（直通）

公益社団法人福岡県薬剤師会
薬事情報センター

くすりなんでもテレホン
電話：092-271-1585

ジェネリック医薬品 Q&A

「ジェネリック医薬品」って最近よく耳にしますが、「なぜ安いのだろう?」、「品質や効果はどうなのだろう?」といった疑問をお持ちではないでしょうか。

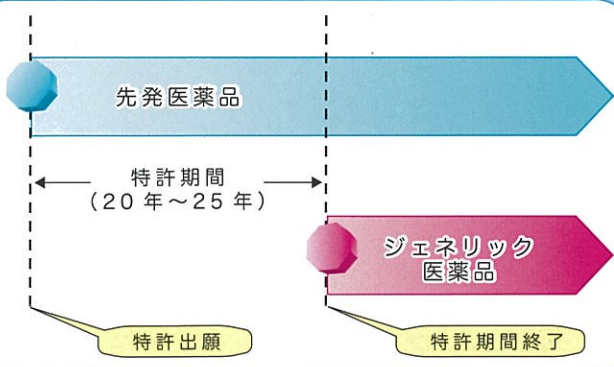
このQ&Aは、そんな疑問にお答えし、多くの方にジェネリック医薬品をより身近なお薬として、安心して使っていただくために作成しました。

平成27年度発行

「ジェネリック医薬品」ってなに？

ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、先に開発された薬（先発医薬品）の特許期間終了後に他のメーカーが、**同じ有効成分・同じ効き目**として申請し、**国が承認した医薬品**です。

国や県は、ジェネリック医薬品の普及を積極的に推進しています。



効果や品質は大丈夫？

ジェネリック医薬品の**安全性**は、**同じ有効成分を持つ先発医薬品が医療現場で長年使用されており、十分確認されています。**

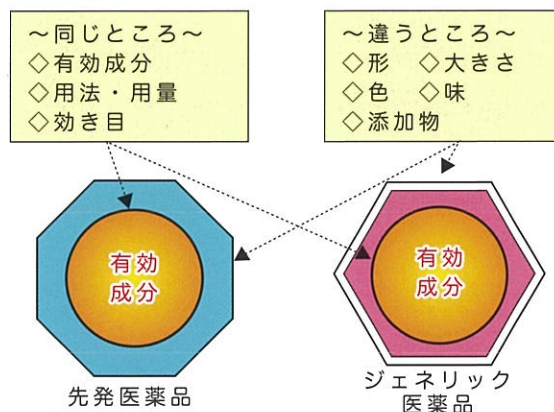
有効性、品質についても、国が定めた基準に適合していることを確認しています。

このように、ジェネリック医薬品ができるまでには、**厳しい基準をいくつもクリアする必要があり、常に医薬品の安全性・有効性・品質は保たれています。**

色や形などが違うのだけれど？

ジェネリック医薬品は先発医薬品と有効成分は同じですが、**添加物や基剤が異なる**ことがあります。

このため、**色や形、大きさ、味、使用感（貼りごこち、塗りごこち）**などが先発医薬品と異なる場合があります。



どんな種類があるの？

高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病をはじめ、様々な病気の治療などに使用する薬があります。

同じ成分のジェネリック医薬品でも**価格が異なる**ことがあります。

味やにおい、大きさを改良し、**飲みやすいもの**にしたり、**安定性を向上し、扱いやすいもの**にしたりするなど**独自の工夫を加えた製品**もあるので、**その中から自分にあったお薬を選ぶことができます。**

ジェネリック医薬品はなぜ安い？

先発医薬品は、**病気の治療に有効な新規物質を探し、動物試験や臨床試験など様々な過程を経て、安全性や有効性を確認した上で承認**されます。この開発には、**長い歳月と巨額の開発費**がかかります。

一方、ジェネリック医薬品は、先発医薬品で**既に有効性や安全性が十分確認された有効成分**を利用しており、製品の品質や先発医薬品との**同等性**などを証明すれば、承認されるため、**開発期間や経費を大幅に抑えることができます。**

このため、ジェネリック医薬品の薬価は、**一定のルールにより安く設定**され、先発医薬品の**約2~7割の価格**になります。

「一般名処方」ってなに？

お薬の名前でなく、**有効成分の名前（一般名）**で書かれていれば、ジェネリック医薬品または先発医薬品のどちらでも選ぶことができます。

一般名処方**は、医師がジェネリック医薬品を選択しても良いと認めている**ということです。

【般】ファモチジン錠 10mg 2錠
(有効成分の名前：一般名)
1日2回朝食後・就寝前 ○日分